

評価基準表

項目	評価の視点
開発課題との合致状況 (配点30点)	○提案されている製品・技術における分野は、中国政府が重点課題(5か年計画)としている内容と合致しているか?(5点)
	○提案されている開発課題について、必要な現状把握と課題分析が行われているか?中国においてこれまで関連するODA事業との連携可能性、相乗効果等が期待されるか?(5点)
	○提案されている製品・技術の活用は、日本内外での活用実績等も踏まえ、当該開発課題の解決に貢献できる蓋然性が高いか?(20点)
事業計画及び事業実施体制等 (配点40点)	○事業の目的が明確で、かつ適切に設定されているか?(5点)
	○事業の目的を達成するために、適切な事業内容が設定されているか?課題を解決するための持続可能なシステムや制度であるか?事業実施に際してのリスク分析とその対応策が具体的に検討されているか?(10点)
	○事業の実施方法や事業工程などが、提案されている業務内容に対して、適切に設定されているか?提案企業(含、中国側パートナー)として、自ら実施が可能なものか?(5点)
	○中国側パートナー及び中国側協力者は、事業の目的や事業実施後の成果の発展を達成するために十分な能力を持っているか?(10点)
	○中国側パートナー及び中国側協力者と十分協議し、事前の準備はできているか?(10点)
本事業後の将来的なビジネス展開 (配点30点)	○本事業実施後の具体的で実現可能なビジネス展開戦略・計画があるか?その他、環境・社会配慮、法・制度面での制約等に配慮がなされており持続可能か?(15点)
	○ビジネス展開の結果、中国の課題解決に一定のインパクトを与えることが期待されるか?(10点) * JICA5点、有識者5点
	○カントリーリスク(経済情勢、政治情勢等)並びに本事業実施後の事業展開におけるリスク(技術漏洩、特許及び利権など)について十分な配慮がされているか。(5点)

* JICA: 35点、外部: 65点 * JICA、有識者の欄は、削除して応募企業に共有する。

以下、ビジネス展開に関する評価の参考項目

市場環境の調査	<ul style="list-style-type: none"> ・市場規模や成長性、競合相手(競合優位性や差別化)の評価などの分析 ・政治・制度、経済内部資源等の分析
市場アクセス 販売促進戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客の想定、需要見込み ・商品戦略(商品・サービスの技術) ・価格戦略(商品・サービスの価格設定あり方戦略) ・商品・サービスの提供・商流(販売網、認知プロセス)
リスクと解決策	<ul style="list-style-type: none"> ・想定されるリスクや問題点、危険度を分析し対処方法や解決策について ・事業におけるリスクと対応策
資金計画	<ul style="list-style-type: none"> ・収支予測 ・資金繰り計画 ・資金調達 ・返済・配当計画
経営プラン 収支計画 事業モデル	<ul style="list-style-type: none"> ・仕入れ計画や開発・生産計画、人員・組織計画など ・事業を継続的に運営するためのシステム ・売上・費用などの収支計画 ・事業の仕組みを表すビジネスモデル
作業計画、日程計画	<ul style="list-style-type: none"> ・事業化に向けてのスケジュール
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ・事業評価・環境保全面の目標達成方法など